

相生バイオマス発電所への燃料輸送における電気推進船の導入について

概要

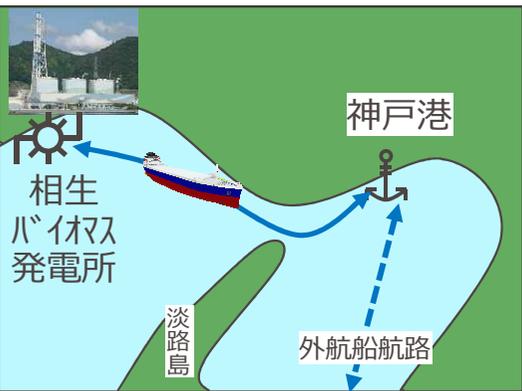
- 相生バイオマス発電所へのバイオマス燃料の運搬（神戸港～同発電所）に電気推進船を1隻導入。
- バイオマス燃料を輸送する貨物船の電化は世界初。
- 蓄電池に貯めた電気を使用することで出入港時や着棧中の排出量をゼロに。離着岸サポートシステムなどの先進技術も搭載。

電気推進船の仕様

<外観（イメージ）>



<航路（イメージ）>



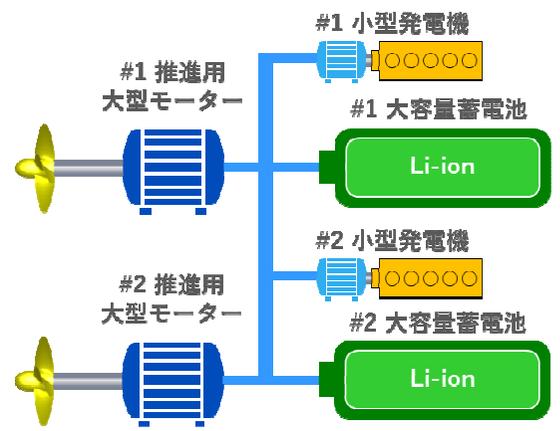
<次世代 E V ハイブリッド船のスペック>

船種	一般貨物船（499総トン※1）
企画	e5ラボ
デザイン	三菱造船
建造造船所	本田重工業
オーナー	旭タンカー
運航	上組海運
全長	71.89m
幅	12m
航海速力	最大運航速力 11ノット※2 通常運航速力 10ノット
発電機容量	500kW×2基
バッテリー容量	440kWh
載貨重量	1,600トン
竣工予定	2023年4月

※1：総トン…船舶の大きさ（容積）を表す指標
 ※2：1ノット…速さの単位。1時間に1海里（=1,852m）進む

<ハイブリッド E V システム※>

※発電機と大容量蓄電池との組み合わせによりモーターを駆動する。



<ディーゼル船との性能比較>

※同総トン数での比較

燃料費	最大50%削減
CO2排出量	最大50%削減 (削減量は400t-CO2/年)
排気、黒煙、匂い、騒音、振動	大幅に削減